Canon

大判プリンタ

imagePROGRAF

iPF6300/iPF6350

基本操作ガイド

本体操作

1 2 3

基本操作ガイドは、3 冊構成です。
最初に本書をお読みください。

本体操作 1

困ったときには 2

プリンタを運ぶときには 3

プリンタドライバインストール

ご使用前に必ず本書をお読みください。
将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

JPN

安全にお使いいただくために

安全にお使いいただくために、以下の注意事項を必ずお守りください。また、本書に記載されていること以外は行わないでください。思わぬ事故を起こしたり、火災や感電の原因になります。

警告

設置場所について

- アルコール・シンナーなどの引火性溶剤の近くに設置しないでください。引火性溶剤が内部の電気部品に触れると火災や感電の原因になります。

電源について

- 濡れた手で電源コードを抜き差ししないでください。感電の原因になります。

- 電源コードは確実にコンセントの奥まで差し込んでください。差し込みが不十分だと、火災や感電の原因になります。

- 同梱されている電源コード以外は使用しないでください。火災や感電の原因になります。また、同梱されている電源コードを他の製品に使用しないでください。

- 電源コードを傷つける、加工する、引っ張る、無理に曲げるなどのことはしないでください。また電源コードに重い物をのせないでください。傷ついた部分から漏電して、火災や感電の原因になります。

- ふたまたソケットなどを使ったタコ足配線は行わないでください。火災や感電の原因になります。

- 電源コードを束ねたり、結んだりして使用しないでください。火災や感電の原因になります。

- 電源プラグを定期的に抜き、その周辺およびコンセントに溜まったほこりや汚れを、乾いた布で拭き取ってください。ほこり、湿気、油煙の多いところで、電源プラグを長期間差したままにすると、その周辺に溜まったほこりが湿気を吸って絶縁不良となり、火災の原因になります。

万一異常が起きたら

- 万一、煙が出たり変な臭いがするなどの異常が起こった場合、そのまま使用を続けると火災や感電の原因になります。すぐに電源スイッチを切り、その後必ず電源コードをコンセントから抜いてください。そしてお近くの販売店までご連絡ください。

清掃のときは

- 清掃のときは、水で湿した布を使用してください。アルコール・ベンジン・シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。プリンタ内部の電気部品に接触すると火災や感電の原因になります。

心臓ペースメーカをご使用の方へ

- 本製品から微弱な磁気が出ています。心臓ペースメーカをご使用の方は、異常を感じたら本製品から離れてください。そして、医師にご相談ください。

注意

設置場所について

- 不安定な場所や振動のある場所に設置しないでください。プリンタが落ちたり倒れたりして、けがの原因になることがあります。

- 湿気やほこりの多い場所、直射日光の当たる場所、高温や火気の近くには設置しないでください。火災や感電の原因になることがあります。周囲の温度が 15 ～ 30℃、湿度が 10 ～ 80% (結露しないこと) の範囲の場所でお使いください。

- 毛足の長いジュータンやカーペットなどの上に設置しないでください。プリンタ内部に入り込んで火災の原因になることがあります。

- いつでも電源コードが抜けるように、コンセントの回りには物を置かないでください。万一プリンタに異常が起きたとき、すぐに電源コードが抜けないため、火災や感電の原因になることがあります。

- 強い磁気を発生する機器の近くや磁界のある場所には設置しないでください。誤動作や故障の原因となることがあります。

プリンタを持ち運ぶときは

- プリンタ本体の重量は次のとおりです。
  iPF6300/iPF6350 : 約 51kg
- プリンタを持ち運ぶときは、必ず 3 人以上で左右と背面から持ち、腰などを痛めないように注意してください。

- プリンタを持ち運ぶときは、左右底面と背面の [運搬用取っ手] をしっかりと持ってください。他の場所を持つと不安定になり、落としてけがをする場合があります。

電源について

- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。コードを引っぱると電源コードが傷つき、火災や感電の原因になることがあります。

- 延長コードは使用しないでください。火災や感電の原因になることがあります。

- AC100 ～ 240V 以外の電源電圧で使用しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
  なおプリンタの動作条件は次のとおりです。この条件にあった電源でお使いください。
  電源電圧： 100V
  電源周波数： 50/60Hz

清掃のときは

- 清掃のときは、電源コードをコンセントから抜いてください。誤って電源スイッチを押してしまうと、作動した内部の部品に触れてけがの原因になることがあります。

プリントヘッド、インクタンク、メンテナンスカートリッジについて

- 安全のため子供の手の届かないところへ保管してください。誤ってインクをなめたり飲んだりした場合には、ただちに医師にご相談ください。
- インクが目に入ってしまった場合は、すぐに水で洗い流してください。
  インクが皮膚に付着した場合は、すぐに水や石けん水で洗い流してください。
  万一、目や皮膚に刺激が残る場合は、直ちに医師にご相談ください。

- プリントヘッド、インクタンク、メンテナンスカートリッジを落としたり振ったりしないでください。インクが漏れて衣服などを汚すことがあります。

- 印刷後、プリントヘッドの金属部分には触れないでください。熱くなっている場合があり、やけどの原因になることがあります。

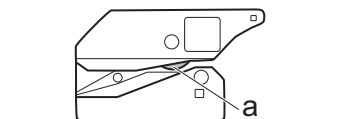
その他

- プリンタを分解・改造しないでください。内部には電圧の高い部分があり、火災や感電の原因になります。

- プリンタの近くでは可燃性のスプレーなどは使用しないでください。スプレーのガスが内部の電気部分に触れて、火災や感電の原因になります。

- 印刷中はプリンタの中に手を入れないでください。内部で部品が動いているため、けがの原因になることがあります。

- プリンタの上にクリップやホチキス針などの金属物や液体・引火性溶剤（アルコール・シンナーなど）の入った容器を置かないでください。プリンタ内部に落ちたりこぼれたりすると、火災や感電の原因になることがあります。

- [カッターユニット] の刃（a）の部分に触れないでください。けがの原因になります。

- 万一、異物（金属片・液体など）がプリンタ内部に入った場合は、プリンタの電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いて、お近くの販売店までご連絡ください。そのまま使用を続けると火災や感電の原因になることがあります。
- インタフェースケーブル類は正しく接続してください。コネクタの向きを間違えて接続すると、故障の原因になります。

- 印刷中は、部屋の換気を行なってください。

- 設置には十分なスペースを確保することをお勧めします。

商標について

Canon、Canon ロゴ、imagePROGRAF は、キヤノン株式会社の商標または登録商標です。
Microsoft、Windows は、アメリカ合衆国およびその他の国で登録されている Microsoft Corporation の商標です。
Macintosh は、アメリカ合衆国およびその他の国で登録されている Apple Inc. の商標です。
その他、このガイドに記載されている会社名、製品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

カラープリンタの使用に関する法律について

紙幣、有価証券などをプリンタで印刷すると、その印刷物の使用如何に拘わらず、法律に違反し、罰せられます。
関連法律：刑法 第 148 条、第 149 条、第 162 条 通貨及証券模造取締法第 1 条、第 2 条 等

取扱説明書の種類

取扱説明書の種類

名前	内容
セットアップガイド	プリンタの開梱から設置、ドライバのインストールの手順を記載しています。
基本操作ガイド1(本書) 本体操作	プリンタの基本的な使い方について記載しています。
基本操作ガイド2 困ったときには	困ったときの対処法などについて記載しています。
基本操作ガイド3 プリンタを運ぶときには/プリンタドライバインストール	本体の輸送方法、ソフトウェアのインストール方法について記載しています。
取扱説明書 (電子マニュアル)	プリンタを操作するうえでの詳しい操作方法が記載されています。
用紙リファレンスガイド (電子マニュアル)	本機で使用できる用紙を紹介しています。

電子マニュアルの開きかた

電子マニュアルは、imagePROGRAF サポート情報から表示することができます。
imagePROGRAF サポート情報から、電子マニュアルを表示するだけでなく imagePROGRAF の専用ホームページにアクセスすることもできます。

- 製品マニュアル
  製品マニュアルには、プリンタの詳しい操作方法や印刷中のトラブルの解決方法などが記載されています。
- 用紙リファレンスガイド
  用紙リファレンスガイドには、プリンタで使用できる用紙の種類や仕様が記載されています。
- 最新情報について
  imagePROGRAF の専用ホームページにアクセスして、各種最新情報や活用方法などをご覧になれます。

imagePROGRAF サポート情報は、以下の方法で表示してください。

Windowsの場合 デスクトップの[iPFxxxx サポート](xxxxはモデル名)アイコンをダブルクリックします。	iPFxxxx サポート
Mac OS Xの場合 Dock内の[iPFサポート]アイコンをクリックします。	

取扱説明書の使い方

マークについて

本書では、安全のためにお守りいただきたいことや取り扱い上の制限、注意などの説明に、以下のマークを付けています。

	注意	取り扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れや物的損害が発生する恐れのある注意事項を記載しています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。
	重要	操作上、必ず守っていただきたい重要事項を記載しています。製品の故障・損傷や誤った操作を防ぐために、必ずお読みください。
	メモ	操作の参考となる情報や、特定のテーマに関する補足情報を記載しています。

参照先について

本書では、参照先を以下のように記載しています。

基本操作ガイドの場合 （冊子番号とタイトル）	（→1xx）（→2xx）（→3xx）
製品マニュアルの場合	（→電子マニュアル「xx」）

表記について

ボタン名や画面上の表示項目について

本書では、操作パネル上のキーやボタンの名称、ソフトウェアの画面上の項目（メニューやボタンなど）などを以下のように表しています。

操作パネル上のキー	（例）[OK]キーを押します。
操作パネルのディスプレイの表示	（例）[ﾍｯﾄﾞ ｸﾘｰﾆﾝｸﾞ]と表示されます。
ソフトウェアの画面上の項目 （メニューやボタンなど）	（例）[OK]をクリックします。
キーボード上のキー	（例）<Tab>を押します。

各部名称について

本書では、プリンタ本体の各部の名称などを以下のように表しています。

プリンタ本体の各部の名称	（例）[上カバー]を開きます。

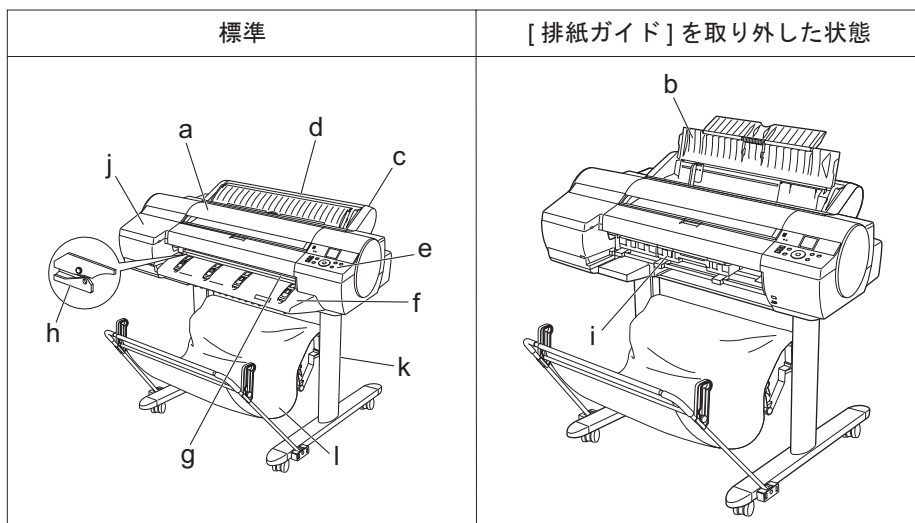
イラストやソフトウェアの画面について

- 本書では、iPF6350 のイラストで説明しています。基本的な操作は同じですが、ご使用の機種とイラストが異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 本書で使われているプリンタドライバやアプリケーションソフトの画面は、ソフトウェアのバージョンアップなどにより、実際と異なる場合があります。
- 本書では、Windows での操作説明に Windows XP の画面が使われています。

各部の説明

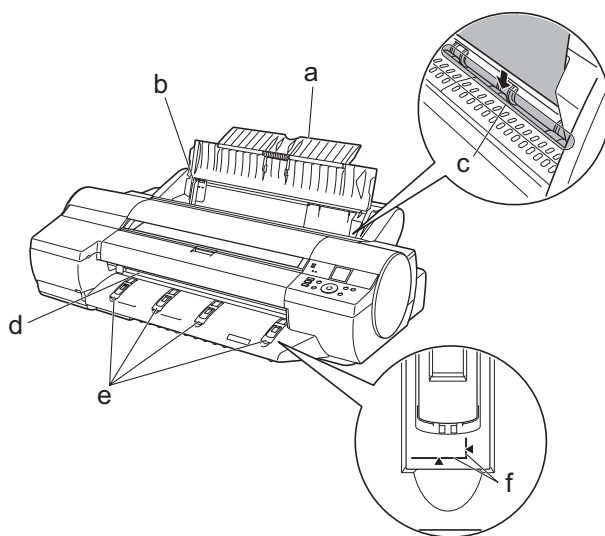
ここでは、各部の名称と機能について説明します。

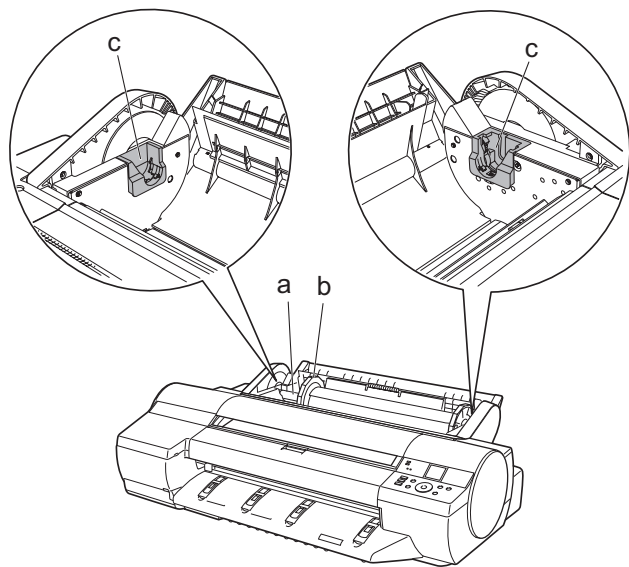
前面

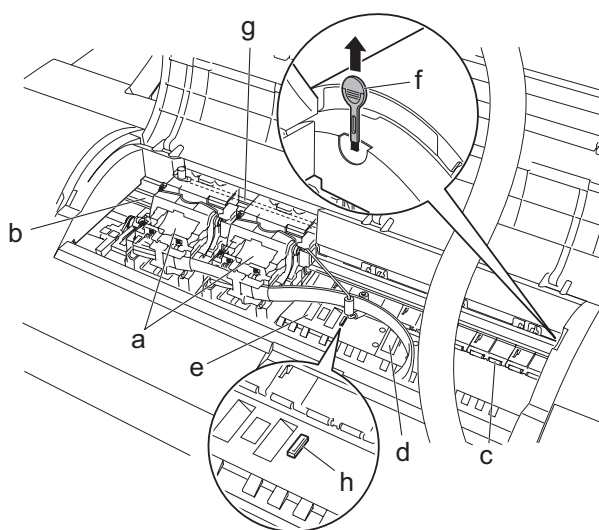
標準	[排紙ガイド] を取り外した状態

	名称	機能
a	[上カバー]	このカバーを開き、プリントヘッドを取り付けたり、プリンタ内部につまった用紙を取り除きます。
b	[手差しカバー]	このカバーを開き、[手差し上面給紙口]にカット紙をセットします。
c	[ロール紙ユニット]	ロール紙をこのユニットにセットします。手差しでカット紙をセットすることもできます。
d	[ロール紙ユニットカバー]	このカバーを開き、ロール紙をセットします。
e	[操作パネル]	このパネルで、プリンタを操作したり、プリンタの状態を確認します。
f	[排紙ガイド]	排紙された用紙が浮き上がらないように支えます。
g	[排紙口]([手差し前面給紙口])	すべての印刷物はここから排紙されます。厚紙をセットするときには、ここに厚紙を差し込みます。
h	[カッターユニット]	ロール紙を自動でカットするための丸刃カッターです。カットしていないときは、収納されています。
i	メンテナンスカートリッジ	余分なインクを吸収します。
j	[インクタンクカバー]	このカバーを開き、インクタンクを交換します。
k	[スタンド]	プリンタの取り付け台です。キャスター付きで簡単に移動できます。
l	[バスケット]	排紙された印刷物を受け止めます。[バスケット]に収容できる枚数は1枚です。

メモ

- [スタンド] は通常オプション品ですが、お買い上げの地域によっては標準装備品の場合があります。

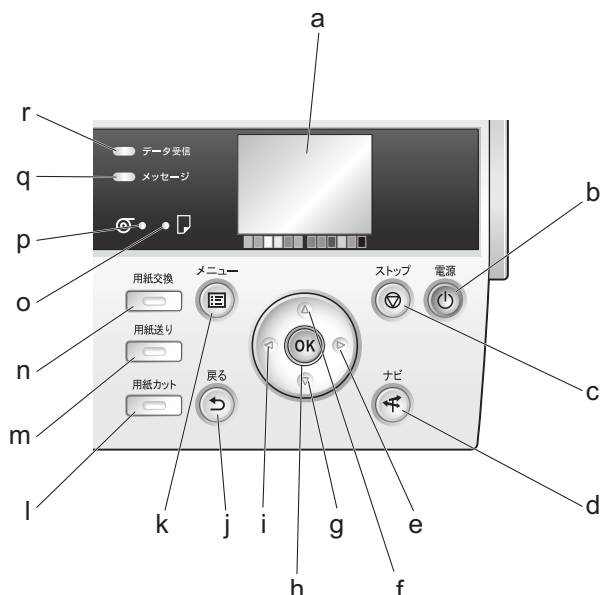
手差し給紙部

	名称	機能
a	[用紙サポート]	手差しでセットするときは、[手差しカバー]を開いてからこのトレイを開きます。
b	[幅ガイド]	カット紙をセットするときに、用紙のサイズに合わせてこのガイドを移動します。
c	[手差し上面給紙口]	カット紙をセットするときに、ここにカット紙を差し込みます。
d	[手差し前面給紙口]([排紙口])	厚紙をセットするときに、ここに厚紙を差し込みます。すべての印刷物はここから排紙されます。
e	[前面給紙ガイド]	厚紙を印刷するときにこのガイドをすべて立てます。厚紙を給紙するときは、厚紙をこのガイド上に載せて、右側に寄せながら厚紙の手前端がこのガイドの[紙合わせライン]に合う位置まで差し込みます。
f	[紙合わせライン]	厚紙を手差しでセットするときに、このラインと平行になるようにセットします。

ロール紙ユニットカバー内部

	名称	機能
a	[ロールホルダー]	ロール紙をこのホルダーにセットします。
b	[ホルダーストッパ]	[ロールホルダー]にロール紙をこの部品で固定します。
c	[ロールホルダースロット]	[ロールホルダー]をこのガイド溝にセットします。

上カバー内部

	名称	機能
a	[キャリッジ]	プリントヘッドを動かします。印刷するための重要な部品です。
b	[キャリッジシャフト]	この部分を[キャリッジ]が移動します。
c	[用紙押さえ]	用紙を送るための重要な部品です。この部分で用紙を保持しています。
d	[プラテン]	この部分をプリントヘッドが移動し、印刷が行われます。表面には[吸引口]があり、用紙の浮き上がりを防ぎます。
e	[フチなし印刷インク受け溝]	フチなし印刷するときに、用紙の外側にはみ出したインクを受けます。
f	[クリーナブラシ]	[上カバー]内部を清掃するときに、このブラシで[プラテン]上の紙粉を掃き取ります。また、[プラテン]上の青い[スイッチ]を動かす際に使用します。
g	[リニアスケール]	[キャリッジ]の位置を検出するための重要な部品です。[上カバー]内部で清掃や紙づまり処理を行うときは、絶対に触れないでください。
h	[スイッチ]	印刷した画像の端部がぼやける場合などに、●の反対側に設定します。フチなし印刷をする際は●側に戻してから印刷してください。

重要

・[キャリッジシャフト](b)、[リニアスケール](g) には触れないでください。触れると故障の原因になります。

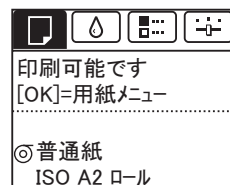
操作パネル

	名称	機能
a	[ディスプレイ]	プリンタのメニュー、状態、またはメッセージを表示します。
b	[電源]キー(緑)	プリンタの電源をオン/オフにします。電源がオンまたはスリープ状態のとき、電源キーが点灯します。
c	[ストップ]キー	処理中のジョブや実行中のインク乾燥を中止します。
d	[ナビ]キー	用紙のセット/取り外し方法、インクタンクの交換方法、プリントヘッドの交換方法などの手順を確認できます。
e	[▶]キー	[タブ選択画面]でこのキーを押すと、タブを移動します。数値を入力するメニューのときに、数値の桁を移動します。
f	[▲]キー	メニュー内でこのキーを押すと、1つ前の項目または設定値を表示します。
g	[▼]キー	メニュー内でこのキーを押すと、次の項目または設定値を表示します。
h	[OK]キー	[タブ選択画面]でこのキーを押すと、表示されているタブのメニューを表示します。 各タブのメニューで、メニューの左側に ✚ がある項目でこのキーを押すと、メニュー項目の下階層に移動し、メニュー項目の実行や値の設定を行うことができます。 [ディスプレイ]に[OK]キーを押すメッセージが表示された場合も、このキーを押します。
i	[◀]キー	[タブ選択画面]でこのキーを押すと、タブを移動します。数値を入力するメニューのときに、数値の桁を移動します。
j	[戻る]キー	現在表示している画面の１つ前の画面を表示します。
k	[メニュー]キー	[タブ選択画面]を表示します。(→1 メニューマップ)
l	[用紙カット]キー	ロール紙がセットされているときにこのキーを押すと、用紙をカットします。
m	[用紙送り]キー	ロール紙がセットされているときにこのキーを押すと、用紙の位置を変更できます。
n	[用紙交換]キー	用紙をセット/交換するときに、このキーを押します。 (→1 ロール紙をプリンタにセットする)、(→1 カット紙をプリンタにセットする)
o	[カット紙ランプ](緑)	給紙元に[手差しトレイ]または[手差し前面給紙口]が選択されているときに点灯します。
p	[ロール紙ランプ](緑)	給紙元にロール紙が選択されているときに点灯します。
q	[メッセージランプ] (オレンジ)	メッセージの表示中に点灯または点滅します。消灯しているときは、正常または電源がオフの状態を示します。
r	[データ受信ランプ](緑)	印刷ジョブまたはファームウェアのデータの状態を示します。

メモ

- スリープ中は、[電源] キー以外のいずれかのキーを押すと、スリープ状態から復帰します。

メニューを操作する

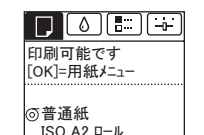
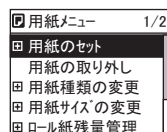
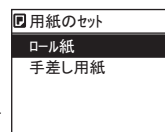
ここでは、操作パネルのメニューを操作する方法について説明します。

プリンタが起動すると、[ディスプレイ] には [タブ選択画面] が表示されます。
タブは 4 種類あり、操作パネルのキーを押して各タブのメニューに移動したり、メニューの項目を設定または実行できます。
(→1メニューマップ)

- ([用紙タブ]) •••••••• 用紙に関連する状態やメニューをまとめたタブです。
- ([インクタブ]) •••••• インクに関連する状態やメニューをまとめたタブです。
- ([ジョブタブ]) •••••• 印刷ジョブに関連する状態やメニューをまとめたタブです。
- ([設定 / 調整タブ]) ••• 設定 / 調整に関連する状態やメニューをまとめたタブです。

- 各タブのメニューを表示する

  [タブ選択画面] で、[◀] キー、[▶] キーを押してタブを選択し、[OK] キーを押します。
  各タブに関連するメニューが表示されます。

  [▲] キー、[▼] キーを押してメニューを選択し、[OK] キーを押します。
  メニューが選択され、メニューの項目が表示されます。

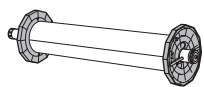
  メニューの左側に ⊞ が表示されているメニューを選択し、[OK] キーを押すと、下の階層のメニューに移動します。

- メニューの項目を設定する

  [▲] キー、[▼] キーを押して設定する項目を選択し、[OK] キーを押します。
  項目の左側のチェックボックスがオンになり、設定が確定します。
  2 秒後に、1 つ上の階層のメニューに戻ります。

- メニューの項目で数値を設定する

  ネットワークなどの設定項目で数値を入力するときに、以下の手順で、数値を設定することができます。
  1. [◀] キー、[▶] キーを押して、数値を入力するフィールドにアンダーバーを移動します。
  2. [▲] キー、[▼] キーを押して数値を入力します。
  3. 手順 1 ～ 2 を繰り返して、設定が完了したら、[OK] キーを押します。

- メニューの項目を実行する

  [▲] キー、[▼] キーを押して実行する項目を選択し、[OK] キーを押します。
  メニュー項目が実行されます。

ロール紙をロールホルダーにセットする

ここでは、ロール紙を [ロールホルダー] に取り付ける方法について説明します。

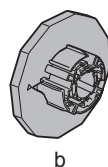
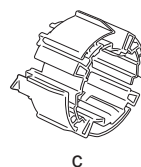
ロール紙に印刷する場合は、ロール紙に [ロールホルダー] を取り付けます。

ロール紙の紙管には 2 インチと 3 インチの 2 つの種類があるため、紙管に合ったアタッチメントを取り付けてください。工場出荷状態では [2 インチ紙管アタッチメント] が取り付けられています。

A1 サイズ（594 mm）、A2 サイズ（420 mm）のロール紙にフチなし印刷する場合は、付属の [フチなし印刷用スペーサー] を [ロールホルダー] に取り付けます。

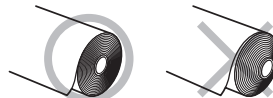
用意するもの

- 2 インチ紙管のロール紙を使用する場合
  2 インチ紙管用 [ホルダーストッパ]（a）
- 3 インチ紙管のロール紙を使用する場合
  3 インチ紙管用 [ホルダーストッパ]（b）
  [3 インチ紙管アタッチメント]（c）

- A1、A2 サイズのロール紙にフチなし印刷する場合
  [フチなし印刷用スペーサー]（d）

注意

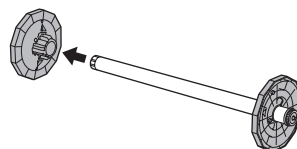
- ロール紙は、転がり落ちないように、机の上など平面に横置きにしてセットしてください。ロール紙を落とすと、けがをする場合があります。

重要

- ロール紙を取り扱うときは、印刷面を汚さないように注意してください。印刷品質が低下する場合があります。ロール紙は、印刷面を保護するために、清潔な布手袋を着用して取り扱うことをお勧めします。
- ロール紙の端面は、巻き揃えておいてください。給紙不良の原因になります。

- ロール紙の先端に折れや汚れがある場合は [用紙ｶｯﾄ] の操作を行って、ロール紙の先端をカットしてください。
  （→電子マニュアル「ロール紙のカット方法を設定する」）
- 用紙が大きく折れ曲がっている場合は、はさみなどでカットしてからプリンタにロール紙をセットし、[用紙ｶｯﾄ] の操作を行って、ロール紙の先端をカットしてください。（→電子マニュアル「ロール紙のカット方法を設定する」）

メモ

- 使用できるロール紙のサイズと種類については、「用紙のサイズ」、または用紙リファレンスガイドを参照してください。
  （→電子マニュアル「用紙のサイズ」）、（→電子マニュアル「用紙の種類」）
- [ナビ] キーを押すと、操作説明を見ながら [ロールホルダー] をセットすることができます。

1 [ロールホルダー] から [ホルダーストッパ] を取り外します。

2

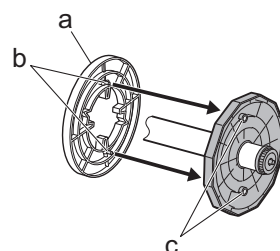
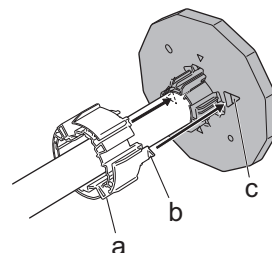
[ロールホルダー] に、使用するロール紙のアタッチメントを取り付けます。

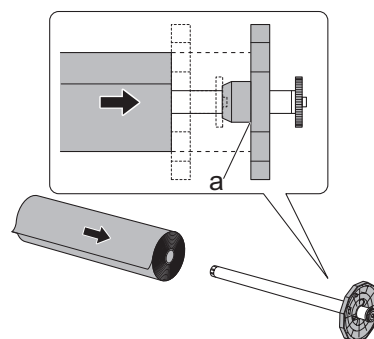
- **3 インチ紙管の用紙を使用する場合**

付属の [3 インチ紙管アタッチメント] を [ロールホルダー] に取り付けます。
図のように、[3 インチ紙管アタッチメント]（a）の三角の部分（b）と [ロールホルダー] の三角の部分（c）を合わせ、[3 インチ紙管アタッチメント] を [ロールホルダー] に差し込みます。

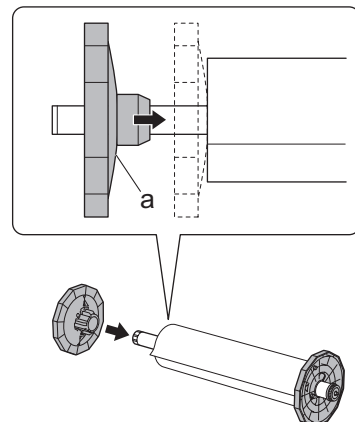
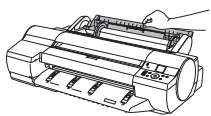
[ホルダーストッパ] は 3 インチ紙管用のものを使用してください。

- **A1、A2 サイズのロール紙にフチなし印刷する場合**

付属の [フチなし印刷用スペーサー] を [ロールホルダー] に取り付けます。
図のように、[フチなし印刷用スペーサー]（a）の突起（b）を、[ロールホルダー] の穴（c）に差し込みます。

3

図のように [ロールホルダー] を横に置いて、ロール紙の先端を手前に向けて、ロール紙を左側から [ロールホルダー] に差し込みます。ロール紙は [ロールホルダー] のフランジ（a）に隙間なく突き当たるまでしっかりと差し込みます。

> 重要
> - [ロールホルダー] は必ず横に置いてロール紙をセットしてください。[ロールホルダー] を立てた状態でロール紙をセットすると、[ロールホルダー] が破損することがあります。

4

図のように、[ホルダーストッパ] を左側から [ロールホルダー] に差し込み、[ホルダーストッパ] のフランジ（a）がロール紙に突き当たるまでしっかりと押し込みます。
紙管に合った [ホルダーストッパ] を取り付けてください。

ロール紙をプリンタにセットする

ここでは、ロール紙をプリンタにセットする方法について説明します。

重要

- ロール紙は、必ず電源を入れた状態でセットしてください。電源を入れない状態でロール紙をセットした場合、電源を入れたときに正しく給紙されないことがあります。

メモ

- ロール紙をセットする前に、[上カバー] 内部や [排紙ガイド] が汚れていないか確認してください。汚れている場合はあらかじめ清掃しておくことをお勧めします。(→2用紙が汚れるときは)

1

[用紙交換] キーを押します。

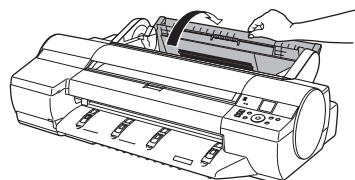
2

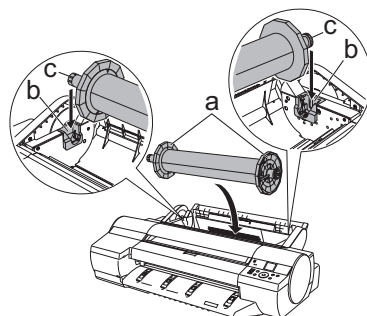
[▲] キー、[▼] キーを押して [ロール紙] を選択し、[OK] キーを押します。

メモ

- 使用しない用紙が給紙されている場合は、用紙を外すメッセージが表示されます。
  [▲] キー、[▼] キーを押して [はい] を選択し、[OK] キーを押します。用紙を取り外し、次の手順に進んでください。

3

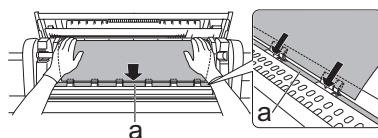
[ロール紙ユニットカバー] を開きます。

4

[ロールホルダー] のフランジ（a）を持って、[ロールホルダー] の軸を [ロールホルダースロット] の左右のガイド溝（b）に合わせてセットします。このとき、ガイド溝の色と [ロールホルダー] の軸（c）の色が同じになるようにセットします。

注意

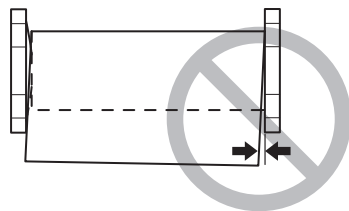
- [ロールホルダー] の左右を間違えた状態で無理にセットしないでください。プリンタや [ロールホルダー] を破損する場合があります。
- [ロールホルダースロット] にセットするまでフランジから手を離さないでください。
- セットするときに、ガイド溝（b）と [ロールホルダー] の軸（c）の間に指が挟まれないように注意してください。

メモ

- プリンタの前面からセットしにくい場合は、プリンタの背面からセットしてください。

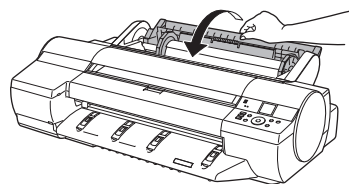
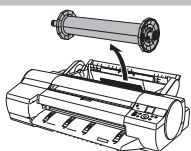
5 ロール紙の先端を [給紙口]（a）に差し込み、給紙音がするまで送り込みます。

給紙動作が開始され、[ディスプレイ] に用紙の種類を選択するメニューが表示されます。

重要

- ロール紙を送り込むときは、印刷面を汚さないように注意してください。印刷品質が低下する場合があります。ロール紙は、印刷面を保護するために、清潔な布手袋を着用して取り扱うことをお勧めします。
- 用紙にしわやカールがある場合は、しわやカールを取ってからセットしてください。
- 用紙が斜めにならないようにセットしてください。

6 [▲] キー、[▼] キーを押してセットした用紙の種類を選択し、[OK] キーを押します。

メモ

- 選択する用紙の種類については、用紙リファレンスガイドを参照してください。
（→ 1 取扱説明書の種類）

7 [ロール紙ユニットカバー] を閉じます。

ロール紙をプリンタから取り外す

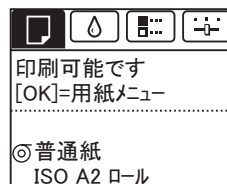
ここでは、ロール紙をプリンタから取り外す方法について説明します。

重要

- ロール紙が給紙された状態で無理に用紙を引き抜かないでください。ロール紙が給紙できなくなり、ロール紙の残量も管理できなくなります。
  誤って引き抜いてしまった場合は、以下のロール紙を取り外す手順を行ない、給紙口を開きます。

メモ

- ロール紙をカットする必要がある場合は、以下を参照してください。
  （→電子マニュアル「ロール紙のカット方法を設定する」）

1 [操作パネル] の [タブ選択画面] で、[◀] キー、[▶] キーを押して （[用紙タブ]）を選択します。

メモ

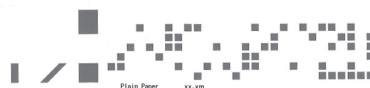
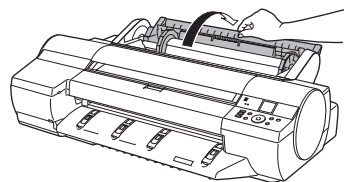
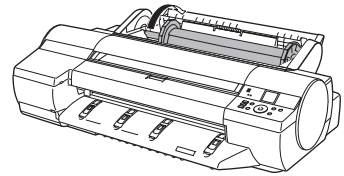
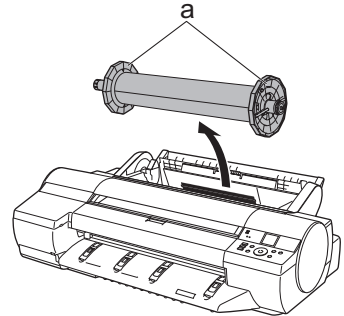
- [タブ選択画面] が表示されていない場合は、[メニュー] キーを押します。

2 [OK] キーを押します。
[用紙ﾒﾆｭｰ] が表示されます。

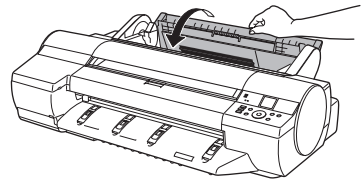
3 [▲] キー、[▼] キーを押して [用紙の取り外し] を選択し、[OK] キーを押します。

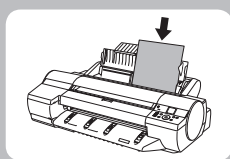
4 [▲] キー、[▼] キーを押して [はい] を選択し、[OK] キーを押します。
ロール紙が巻き戻され、排紙されます。

注意

- [操作パネル] のメニューで [ﾛｰﾙ紙残量管理] を [ｵﾝ] に設定している場合は、ロール紙の先端にバーコードが印刷されます。
  バーコードが印刷される前にロール紙を取り出さないでください。ロール紙の残量を管理できなくなります。
  （→電子マニュアル「ロール紙の残量を管理する」）

5 [ロール紙ユニットカバー] を開きます。

6 両手で [ロールホルダー] を後方に回してロール紙を巻き取ります。

7 [ロールホルダー] のフランジ（a）を持って、[ロールホルダースロット] から取り外します。

メモ

- ロール紙を [ロールホルダー] から取り外す手順は、以下を参照してください。
（→電子マニュアル「ロール紙をロールホルダーから取り外す」）

8 [ロール紙ユニットカバー] を閉じます。

メモ

- 新しく用紙をプリンタに取り付ける場合は、引き続き以下を参照してください。
（→1 ロール紙をプリンタにセットする）

カット紙をプリンタにセットする

ここでは、カット紙をプリンタにセットする方法について説明します。

手差しの場合は、用紙を [手差し上面給紙口] にセットします。ただし、POP ボードなどの厚紙に印刷する場合は、用紙を [手差し前面給紙口] にセットします。

給紙元と用紙の種類を選択する

事前に印刷ジョブを受信している場合

自動的にカット紙が選択され、[ディスプレイ] に印刷ジョブで指定した用紙の種類とサイズが表示されます。

1 [▲] キー、[▼] キーを押して [用紙をｾｯﾄする] を選択し、[OK] キーを押します。

2 印刷ジョブで指定した用紙の種類に合わせて、[手差し上面給紙口] または [手差し前面給紙口] に用紙をセットします。

- [POP ﾎﾞｰﾄﾞ] 以外を選択した場合は、用紙を [手差し上面給紙口] にセットしてください。
- [POP ﾎﾞｰﾄﾞ] を選択した場合は、用紙を [手差し前面給紙口] にセットしてください。

事前に印刷ジョブを受信していない場合

1 [用紙交換] キーを押します。

2 [▲] キー、[▼] キーを押して [手差し用紙] を選択し、[OK] キーを押します。

メモ

- 使用しない用紙が給紙されている場合は、用紙を外すメッセージが表示されます。
  [▲] キー、[▼] キーを押して [はい] を選択し、[OK] キーを押します。用紙を取り外し、次の手順に進んでください。

3 [▲] キー、[▼] キーを押して用紙の種類を選択し、[OK] キーを押します。
厚紙に印刷する場合は、[POP ﾎﾞｰﾄﾞ] を選択し、[手差し前面給紙口] にセットしてください。
その他の用紙に印刷する場合は、印刷する用紙の種類を選択し、[手差し上面給紙口] にセットしてください。

メモ

- 選択する用紙の種類については、用紙リファレンスガイドを参照してください。
  (→ 1 取扱説明書の種類)

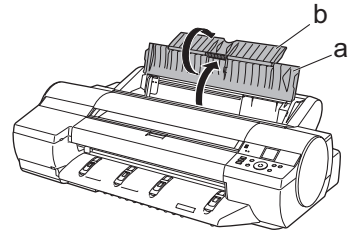
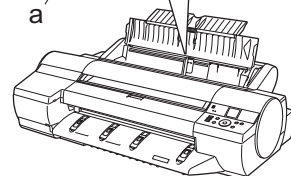
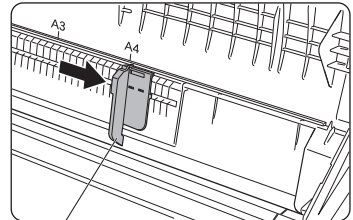
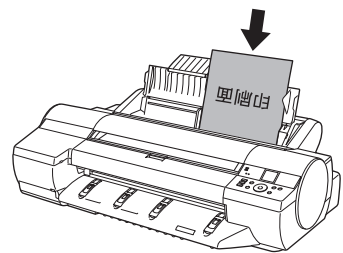
用紙を[手差し上面給紙口]にセットする

重要

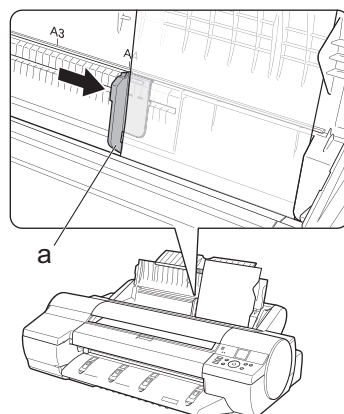
- [手差し上面給紙口] にセットできる用紙は 1 枚です。2 枚以上セットしないでください。紙づまりの原因になります。
- 給紙前や印刷前に、用紙が [手差しカバー] に沿っていることを確認してください。用紙が手前に倒れた状態で給紙および印刷をすると、紙づまりの原因になります。

メモ

- 使用しない用紙は入っていた袋に戻し、高温、多湿、直射日光を避けて保管してください。
- 用紙が波打っていたり、たわんでいる場合、紙づまりの原因になります。用紙は平らな状態に直してからセットしてください。
- 用紙はまっすぐにセットしてください。斜めにセットすると斜行エラーになります。

1 [手差しカバー]（a）を開き、さらに [用紙サポート]（b）を開きます。

2 [幅ガイド]（a）をつまんでスライドし、セットする用紙のサイズの刻印に合わせます。

3 印刷面を上にし、[手差し上面給紙口] に用紙を 1 枚セットします。
その際、用紙の先端が軽く突き当たる所まで、差し込んでください。

注意

- A2 サイズよりも大きな用紙をセットする場合、用紙の重みで用紙がプリンタ背面に落ちる場合があります。用紙の印刷面の裏側に手を添え、用紙が落ちないようにしてください。

4 [幅ガイド]（a）の位置をセットした用紙のサイズに合わせて調整します。
セットした用紙が傾いたりしわにならないように、[幅ガイド] を用紙にぴったり合わせてください。

5 [OK] キーを押します。

- 事前に印刷ジョブを受信している場合
  給紙後、印刷が開始されます。
- 事前に印刷ジョブを受信していない場合
  給紙が開始されます。

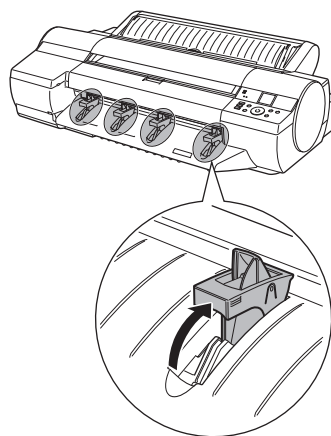
厚紙を[手差し前面給紙口]にセットする

重要

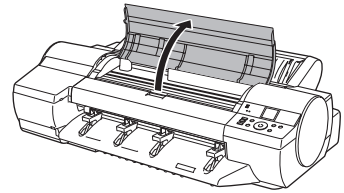
- [POP ﾎﾞｰﾄﾞ] は必ず [手差し前面給紙口] にセットして印刷してください。他の給紙方法でセットすると、動作不良や故障の原因になります。
- 用紙は 1 枚だけセットできます。

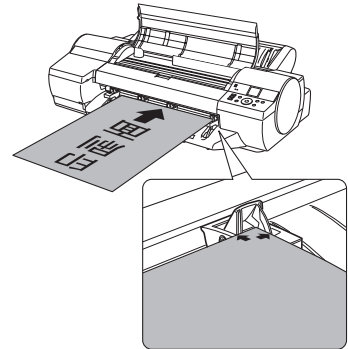
メモ

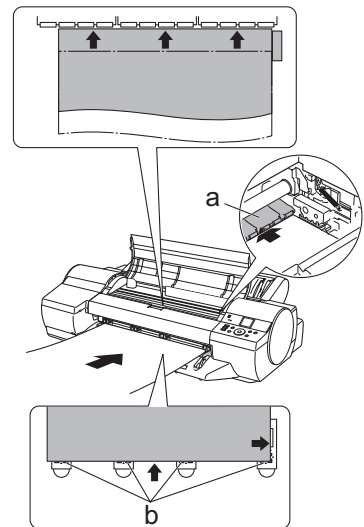
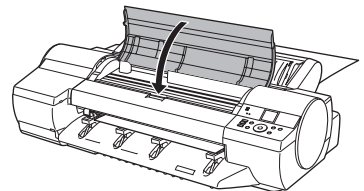
- 使用しない用紙は入っていた袋に戻し、高温、多湿、直射日光を避けて保管してください。
- 用紙に反りがある場合、用紙の反りを直してからセットしてください。
- 用紙はまっすぐにセットしてください。斜めにセットすると斜行エラーになります。
- 一度セットすると、用紙は横にずらすことができません。用紙はまっすぐセットしておいてください。

1 [ﾌﾟﾘﾝﾀ背面に 70cm/28" の空間を確保してください 。] と表示されたらプリンタ背面のスペースを確認し、[排紙ガイド] 上の 4 つの [前面給紙ガイド] を引き上げて立て、[OK] キーを押します。

メモ

- [手差し前面給紙口] に用紙をセットするためには、プリンタ背面に十分なスペースが必要です。設置面積については、以下を参照してください。
  （→電子マニュアル「仕様」）

2 [上ｶﾊﾞｰを開けてください。] と表示されたら、[上カバー] を開きます。

3 印刷面を上にして用紙 1 枚の先端を [前面給紙ガイド] の上に載せ、[手差し前面給紙口] に水平に差し込みます。

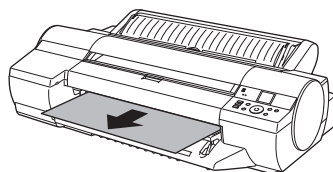
注意

- 用紙を [手差し前面給紙口] に差し込む際は、給紙口に水平に差し込んでください。印刷面に傷がつく場合があります。

4 [上カバー] 内部を見ながら、用紙の先端を [用紙押さえ]（a）に対して平行にして [プラテン] と [用紙押さえ]（a）の間に差し込み、[前面給紙ガイド] の [紙合わせライン]（b）に合わせます。

5 [上ｶﾊﾞｰを閉じてください。] と表示されたら、[上カバー] を閉じ、[OK] キーを押します。

[プラテン] と [背面カバー] の間に固定され、給紙されます。

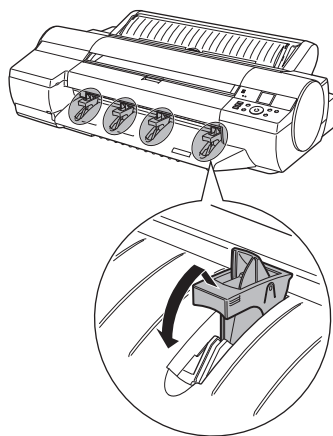
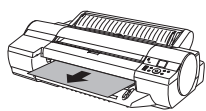
- 事前に印刷ジョブを受信している場合
  給紙後、印刷が開始されます。
- 事前に印刷ジョブを受信していない場合
  給紙が開始されます。

6 印刷後、用紙は落下防止のため後端が排紙ローラに保持された状態でいったん停止します。
[OK] キーを押して、用紙を取り外せる状態にします。

7 用紙を手前側に水平に引き出して、取り外します。

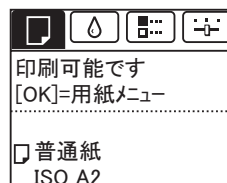
注意

• [POP ﾎﾞｰﾄﾞ] を引き出すときは、手前側に水平に引き出さないと、印刷面に傷がつく場合があります。

8 [OK] キーを押します。

9 [排紙ガイド] 上の 4 つの [前面給紙ガイド] を引き上げて手前に格納し、[OK] キーを押します。

カット紙を取り外す

ここでは、カット紙をプリンタから取り外す方法について説明します。

手差し上面給紙のカット紙を取り外す

1 [操作パネル] の [タブ選択画面] で [◀] キー、[▶] キーを押して、[ ]（[用紙タブ]）を選択します。

メモ

- [タブ選択画面] が表示されていない場合は、[メニュー] キーを押します。

2 [OK] キーを押します。
[用紙ﾒﾆｭｰ] が表示されます。

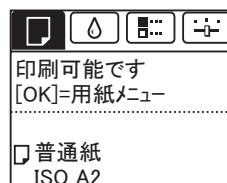
3 [▲] キー、[▼] キーを押して [用紙の取り外し] を選択し、[OK] キーを押します。

4 [▲] キー、[▼] キーを押して [はい] を選択し、[OK] キーを押します。
カット紙は前側に排紙されます。

注意

- カット紙後端が排紙されない場合は、カット紙を手前側に水平に引き出して取り外します。カット紙を引き出すときは、手前側に水平に引き出さないと、印刷面に傷がつく場合があります。

手差し前面給紙の厚紙を取り外す

1 [操作パネル] の [タブ選択画面] で [◀] キー、[▶] キーを押して、[ ]（[用紙タブ]）を選択します。

メモ

- [タブ選択画面] が表示されていない場合は、[メニュー] キーを押します。

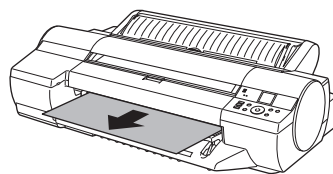
2 [OK] キーを押します。
[用紙ﾒﾆｭｰ] が表示されます。

3 [▲] キー、[▼] キーを押して [用紙の取り外し] を選択し、[OK] キーを押します。

4 [▲] キー、[▼] キーを押して [はい] を選択し、[OK] キーを押します。
用紙が排紙され、用紙後端が排紙ローラに保持された状態でいったん停止します。

5 [OK] キーを押します。
用紙が取り外せる状態になります。

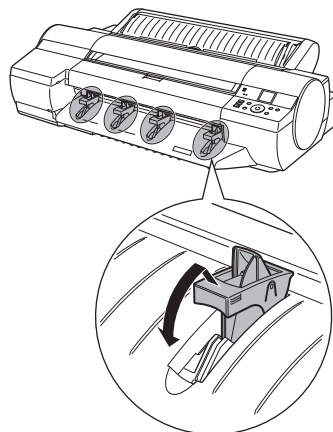
6 用紙を手前側に水平に引き出して、取り外します。

注意

- [POP ﾎﾞｰﾄﾞ] を引き出すときは、手前側に水平に引き出さないと、印刷面に傷がつく場合があります。

7 [OK] キーを押します。

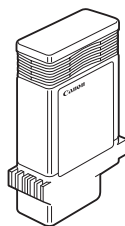
注意

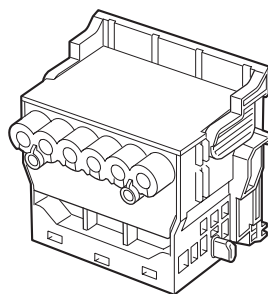
- 必ず用紙を取り外してから [OK] キーを押してください。用紙を取り外さずに手順 7 の操作を行うと、用紙がプリンタ内部に巻き戻され、用紙後端に帯状のローラ跡が付く場合があります。

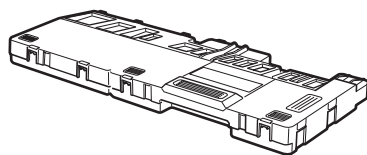
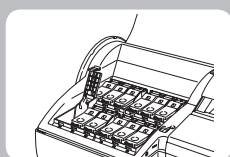
8 [排紙ガイド] 上の 4 つの [前面給紙ガイド] を引き上げて手前に格納し、[OK] キーを押します。

消耗品

インクタンク

インクタンクをご購入の際は、以下のインクタンクの型番が記載されていることをご確認ください。

- PC インクタンク PFI-105PC
- C インクタンク PFI-105C
- MBK インクタンク PFI-105MBK
- Y インクタンク PFI-105Y
- M インクタンク PFI-105M
- PM インクタンク PFI-105PM
- R インクタンク PFI-105R
- G インクタンク PFI-105G
- B インクタンク PFI-105B
- PGY インクタンク PFI-105PGY
- GY インクタンク PFI-105GY
- BK インクタンク PFI-105BK
  各色 130ml

プリントヘッド

- プリントヘッド PF-05

メンテナンスカートリッジ

- メンテナンスカートリッジ MC-16

インクタンクを交換する

ここでは、インクタンクを交換する方法について説明します。

対応しているインクタンク

130ml のインクタンクに交換することができます。（→1消耗品）

インクタンクの取り扱い上の注意

インクタンクを取り扱うときは、以下の点に注意してください。

注意

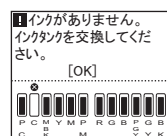
- 取り外したインクタンクのインク供給部には、インクが付着している場合があります。インクタンクの取り扱いには十分ご注意ください。インクが衣服などに付くと落ちない場合があります。

重要

- 本製品で一度使用したインクタンクを、他の機種のプリンタに使用しないでください。
  インクの残量が正しく検知されず、プリンタに損傷・異常が発生することがあります。
- インクタンクは、開封後、半年以内に使い切ることをお勧めします。時間の経過したインクタンクを使用すると、印刷品質が低下する場合があります。
- プリンタは、長期間（1か月以上）、インクタンクを取り外した状態にしないでください。プリンタに残ったインクがつまり、印刷不良の原因になります。

インクタンクが交換可能であることを確認する

以下の場合に、インクタンクを交換できます。

[ディスプレイ]にインクタンクの残量確認や交換を指示するメッセージなどが表示されているときに､インクタンクを交換できます。	印刷中 [OK]=インクメニュー 印刷中 [OK]=インクメニュー インク残量が少なくなりました。交換準備をしてください。
インクタンクの交換を指示するメッセージが表示されている場合は､[OK]キーを押します。 この場合は､｢インクタンク交換のメニューを選択する｣の内容は実行せず､｢インクタンクを取り外す｣に進んでください。	

重要

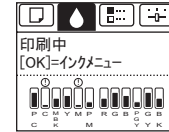
- 電源をオンにした直後のプリンタの初期化中、ヘッドクリーニング中は、インクタンクを取り外さないでください。

メモ

- インクタンクは、印刷中、印刷ジョブのキャンセル中、用紙の給紙中も交換できます。

インクタンク交換のメニューを選択する

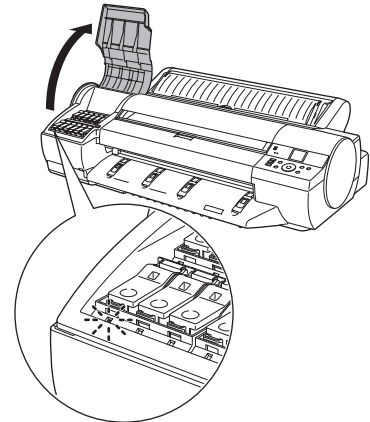
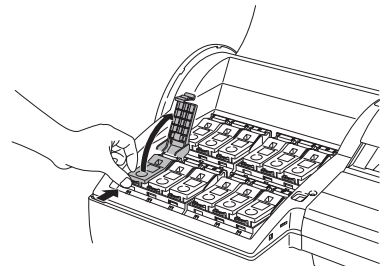
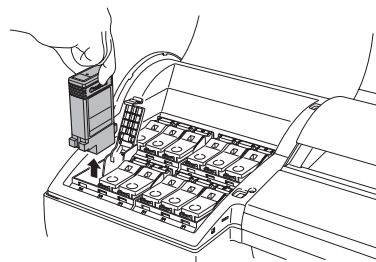
1 [操作パネル] の [タブ選択画面] で [◀] キー、[▶] キーを押して （[インクタブ]） を選択します。

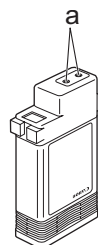
メモ

・[タブ選択画面] が表示されていない場合は、[メニュー] キーを押します。

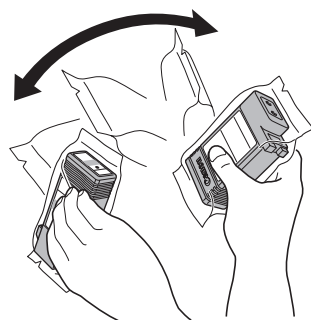
2 [OK] キーを押します。
[インクメニュー] が表示されます。

3 [▲] キー、[▼] キーを押して [インクタンク交換] を選択し、[OK] キーを押します。
[ディスプレイ] に [インクタンクカバー] を開けるメッセージが表示されます。引き続き、インクタンクを取り外します。

インクタンクを取り外す

1 [インクタンクカバー] を開き、[インクランプ] を確認します。
インクが少なくなると、[インクランプ] が点滅します。

2 交換する色の [インクタンク固定レバー] の先端を水平に押しながら、[インクタンク固定レバー] を上に開きます。

3 つまみ部を持ってインクタンクを取り出し、[OK] キーを押します。

注意

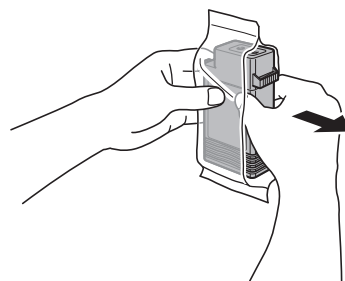
- 取り出したインクタンクにインクが残っているときは、インク供給部（a）を上にして保管してください。インクが漏れて周辺が汚れる場合があります。取り出したインクタンクは、ビニール袋に入れて口を閉じてください。

インクタンクをセットする

1 袋を開封する前に、新しいインクタンクをゆっくりと 7 ～ 8 回振ります。インクタンクの上下が逆さまになるように、ゆっくり回転させながらインクタンクを振ります。

注意

- 一度プリンタにセットしたインクタンクは、取り外して振らないでください。インクが飛び散る場合があります。

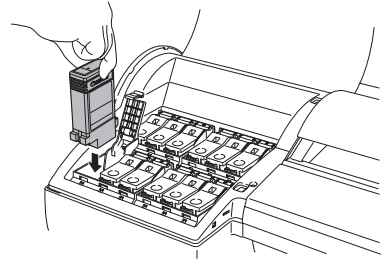
重要

- インクタンクを振らないと、インクの成分が沈殿し、印刷品質が低下する場合があります。

2 袋を開封し、インクタンクを取り出します。

注意

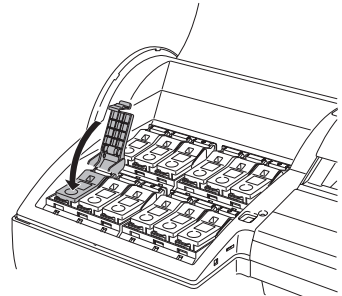
- インク供給部や端子部には、絶対に触れないでください。周辺の汚損、インクタンクの破損、または印刷不良の原因になります。

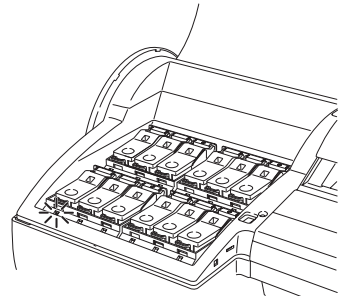
3

[OK] キーを押し、インク供給部を下側、図の向きにしてインクタンクをホルダーにセットします。

重要

- セットする色と向きが違うと、インクタンクはホルダーにセットできません。
  インクタンクをホルダーにセットできない場合は、無理に入れずに、[インクタンク固定レバー] に貼ってあるラベルの色表示とインクタンクの色、インクタンクの向きを確認してセットし直してください。

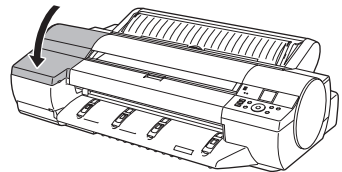
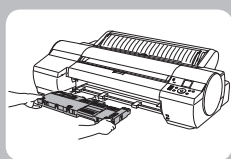
4

[インクタンク固定レバー] を、カチッと音がするまで閉じます。

5

[インクランプ] が赤く点灯していることを確認します。

メモ

- [インクランプ] が点灯しない場合は、セットし直してください。

6

[インクタンクカバー] を閉じます。

メンテナンスカートリッジを交換する

ここでは、メンテナンスカートリッジを交換する方法について説明します。

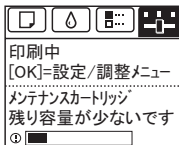
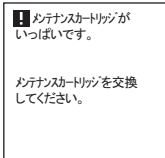
対応しているメンテナンスカートリッジ

メンテナンスカートリッジ MC-16 を使用してください。

メンテナンスカートリッジの取り扱い上の注意

メンテナンスカートリッジを取り扱うときは、以下の点に注意してください。

注意

- インクを含んだメンテナンスカートリッジは、落としたり傾けたまま放置しないでください。インクが漏れて周辺が汚れる場合があります。
- 一度使用したメンテナンスカートリッジの上面には、インクが付着しています。メンテナンスカートリッジの取り扱いには十分ご注意ください。インクが衣服などに付くと落ちない場合があります。

重要

- メンテナンスカートリッジは、交換するとき以外は取り出さないでください。

メンテナンスカートリッジが交換可能であることを確認する

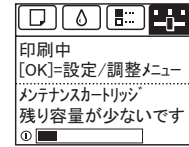
以下の場合に、メンテナンスカートリッジを交換できます。

[ディスプレイ]にメンテナンスカートリッジの残量確認や交換を指示するメッセージなどが表示されているときに、メンテナンスカートリッジを交換できます。	印刷中 [OK]=設定/調整メニュー メンテナンスカートリッジ 残り容量が少ないです
メンテナンスカートリッジ交換のメッセージが表示されている場合は、「メンテナンスカートリッジ交換のメニューを選択する」の内容は実行せず、「メンテナンスカートリッジを交換する」に進んでください。	メンテナンスカートリッジがいっぱいです。 メンテナンスカートリッジを交換してください。

注意

- 電源をオンにした直後のプリンタの初期化中、プリントヘッドのクリーニング中、インク吸引中は、メンテナンスカートリッジを交換しないでください。インクが漏れる可能性があります。

メンテナンスカートリッジ交換のメニューを選択する

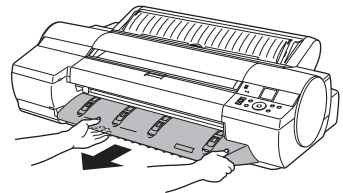
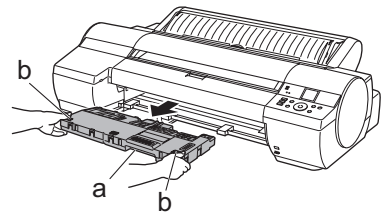
1 [操作パネル] の [タブ選択画面] で [◀] キー、[▶] キー を押して （[設定 / 調整タブ]）を選択します。

メモ
- [タブ選択画面] が表示されていない場合は、[メニュー] キーを押します。

2 [OK] キーを押します。
[設定 / 調整ﾒﾆｭｰ] が表示されます。

3 [▲] キー、[▼] キーを押して [ﾒﾝﾃﾅﾝｽ] を選択し、[OK] キーを押します。

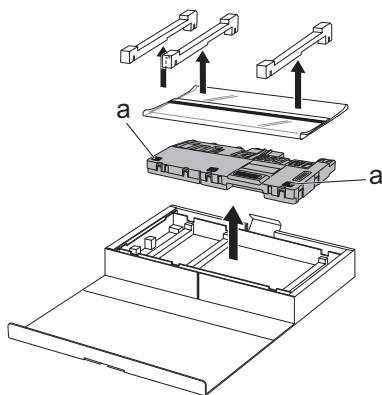
4 [▲] キー、[▼] キーを押して [ﾒﾝﾃﾅﾝｽ C 交換] を選択し、[OK] キーを押します。
[ディスプレイ] に [メンテナンスカートリッジカバー] を開けるメッセージが表示されます。

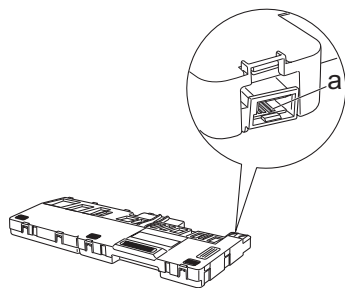
メンテナンスカートリッジを交換する

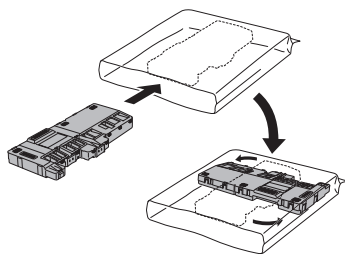
1 [排紙ガイド] を取り外します。

2 使用済みのメンテナンスカートリッジの取っ手 (a) を持って引き出し、左右の取っ手（b）を持って水平に取り出します。

注意
- 使用済みのメンテナンスカートリッジは重くなっています。必ず、しっかり持って水平に保ちながら取り出し、保管してください。インクを含んだメンテナンスカートリッジを落としたり傾けたまま放置すると、インクが漏れて周辺が汚れる場合があります。

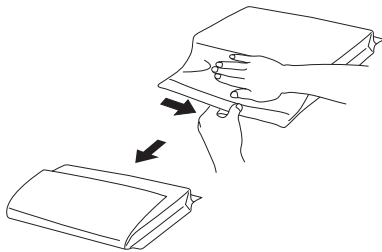
重要
- メンテナンスカートリッジの残り容量はプリンタごとに記録されます。一度使用したメンテナンスカートリッジを他のプリンタに取り付けることはできません。

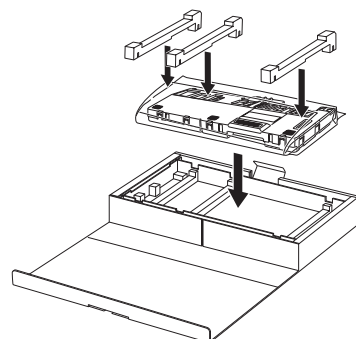
3

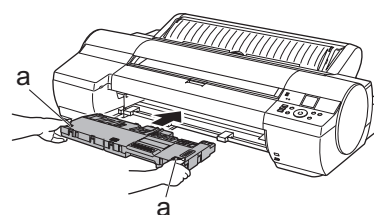
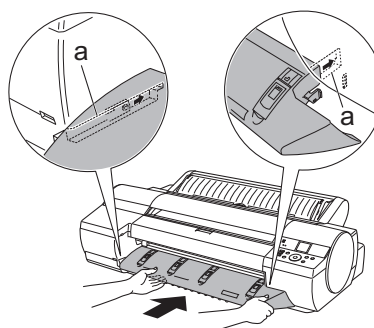
梱包箱を開いてビニール袋と緩衝材を取り外し、左右の取っ手（a）を持って新しいメンテナンスカートリッジを取り出します。

重要

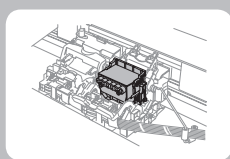
- 端子部（a）には、絶対に触れないでください。メンテナンスカートリッジの故障の原因になります。

4

使用済みのメンテナンスカートリッジを、図のように、水平に保ったまま梱包箱に入っていたビニール袋に入れます。

5

ビニール袋の中の空気を抜きながらジッパーをしっかり閉じ、ビニール袋を二つ折りにします。

6 新しいメンテナンスカートリッジが入っていたように、使用済みのメンテナンスカートリッジと緩衝材を梱包箱に入れ、水平に保ったまま保管します。

注意

- メンテナンスカートリッジは、必ず梱包箱に入れて、水平に保ったまま保管してください。インクが漏れて周辺が汚れる場合があります。

7 新しいメンテナンスカートリッジの左右の取っ手（a）を持ち、水平に保ったまま、奥まで押し込みます。

8 [排紙ガイド] の左右手前側を持ち、ガイド（a）に合わせて [排紙ガイド] をスライドし、ロックがかかるまで差し込みます。

9 [OK] キーを押します。

メンテナンスカートリッジが初期化されます。

プリントヘッドを交換する

ここでは、プリントヘッドを交換する方法について説明します。

プリントヘッドの交換時期について

このプリンタでは、プリントヘッドを 2 個使用しています。
以下の場合に、両方または片方のプリントヘッドを交換してください。

- プリンタのメニューで [ﾍｯﾄﾞｸﾘｰﾆﾝｸﾞ B] を 1 ～ 2 回実行しても印刷品質が改善されない場合
  印刷品位の低いプリントヘッドを交換してください。
- [ディスプレイ] に [上ｶﾊﾞｰを開けて、ﾌﾟﾘﾝﾄﾍｯﾄﾞ L を交換してください。] と表示された場合
  左側のプリントヘッドを交換してください。
- [ディスプレイ] に [上ｶﾊﾞｰを開けて、ﾌﾟﾘﾝﾄﾍｯﾄﾞ R を交換してください。] と表示された場合
  右側のプリントヘッドを交換してください。
- キヤノンお客様相談センターでプリントヘッドの交換を指示された場合
  交換を指示されたプリントヘッドを交換してください。

対応しているプリントヘッド

プリントヘッド PF-05 を使用してください。

プリントヘッドの取り扱いの注意

プリントヘッドを取り扱うときは、以下の点に注意してください。

注意

- 取り外したプリントヘッドのノズルには、インクが付着している場合があります。プリントヘッドの取り扱いには十分ご注意ください。インクが衣服などに付くと落ちない場合があります。

重要

- プリントヘッドの袋は、プリンタに取り付ける直前まで開封しないでください。また、袋から取り出したプリントヘッドは、すぐにプリンタに取り付けてください。開封したまま放置すると、プリントヘッドのノズルが乾いて、印刷品質が低下する場合があります。

プリントヘッド交換のメニューを選択する

注意

- 印刷直後にプリントヘッドを交換する場合は、数分間待ってから作業してください。印刷直後は、プリントヘッドの金属部分が熱くなっているので、触れるとやけどする場合があります。

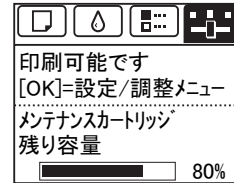
メモ

- インクの残量が少ない場合は、新しいインクタンクを準備してください。
- プリントヘッドの交換では、手が汚れる場合があります。交換時は、プリントヘッドの箱に同梱されている手袋を装着してください。

1 ロール紙のカット方法の設定により、印刷物が排紙されていない場合は、カットして取り除きます。
（→電子マニュアル「印刷後にロール紙をカットする」）

2 [上カバー] 内部を清掃します。（→❷用紙が汚れるときは）

3 [操作パネル] の [タブ選択画面] で [◀] キー、[▶] キーを押して ［設定/調整タブ］ （[設定 / 調整タブ]）を選択します。

メモ

- [タブ選択画面] が表示されていない場合は、[メニュー] キーを押します。

4 [OK] キーを押します。
[設定 / 調整ﾒﾆｭｰ] が表示されます。

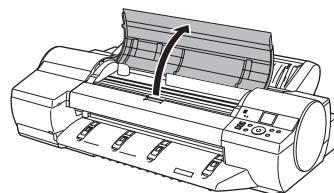
5 [▲] キー、[▼] キーを押して [ﾒﾝﾃﾅﾝｽ] を選択し、[OK] キーを押します。

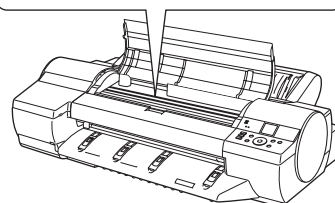
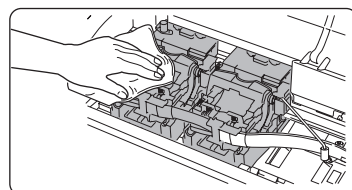
6 [▲] キー、[▼] キーを押して [ﾍｯﾄﾞ 交換] を選択し、[OK] キーを押します。

7 [▲] キー、[▼] キーを押して交換するプリントヘッドを選択します。
[プリントヘッド L] を交換する場合は [ﾍｯﾄﾞ L]、[プリントヘッド R] を交換する場合は [ﾍｯﾄﾞ R] を選択します。間違えないように注意してください。

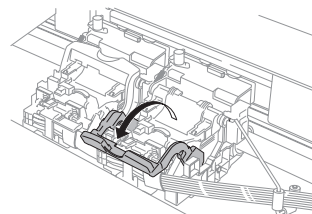
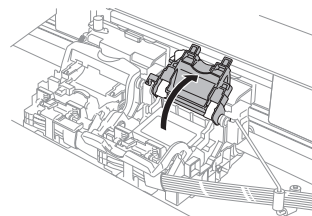
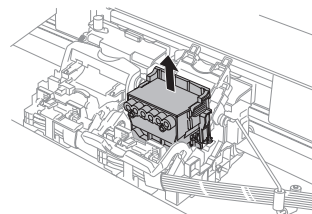
8 [OK] キーを押します。
インクが吸引されます。
約 3 分後、[ディスプレイ] に [上カバー] を開けるメッセージが表示されます。

プリントヘッドを交換する

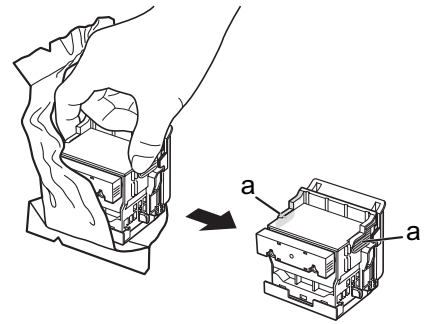
1 [上カバー] を開きます。

[ディスプレイ] にプリントヘッド交換の手順が表示されます。

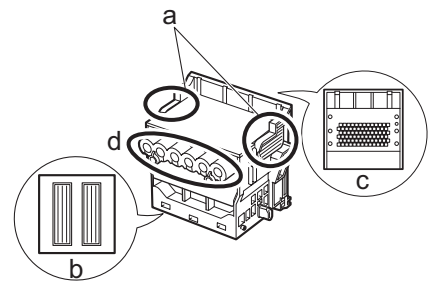
2 [プリントヘッド固定カバー] や [プリントヘッド固定レバー] が汚れている場合は、水を含ませて固く絞った布で汚れをふき取ります。

重要

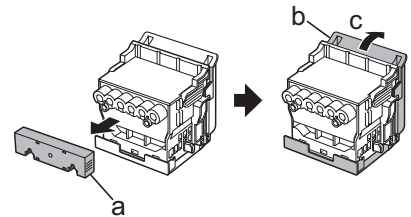
- [キャリッジ] の電極部には、絶対に触れないでください。プリンタの故障の原因になります。

3 [プリントヘッド固定レバー] を前側に引いて、いっぱいに開きます。

4 [プリントヘッド固定カバー] を引き上げて、いっぱいに開きます。

5 プリントヘッドを取り外し、[OK] キーを押します。

メモ

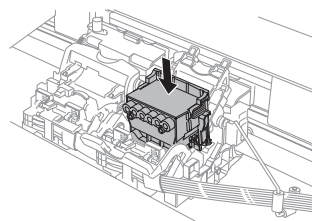
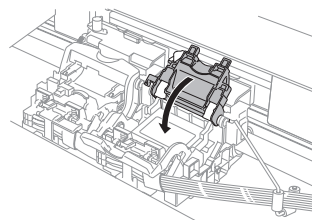
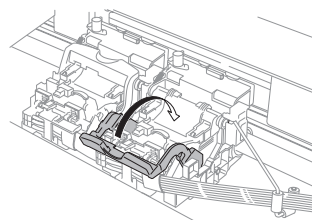
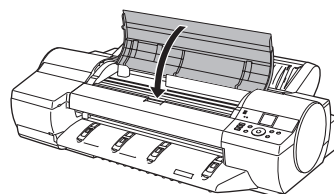
- 取り出したプリントヘッドは、地域の条例に従って廃棄してください。

6 新しいプリントヘッドを、つまみ部（a）を持って袋から取り出します。

重要

- プリントヘッドは､必ずつまみ部（a）を持って取り扱ってください。ノズル（b）や電極部（c）には、絶対に触れないでください。プリントヘッドの破損や印刷不良の原因になります。
- インク供給部（d）には、絶対に触れないでください。印刷不良の原因になります。

- プリントヘッドを一時的に置く場合は、ノズルや電極部を下向きに置かないでください。ノズルや電極部が損傷し、印刷品質が低下する場合があります。

7 プリントヘッドを取り出したまましっかりと持ち、もう一方の手でオレンジ色の保護部品（a）を取り外し、保護部品（b）をつまみ（c）を押しながら下に引いて取り外します。

重要

- 保護部品（a）や保護部品（b）の内側には、ノズルを保護するためのインクが塗られています。取り外す際は触れないように注意してください。
- プリントヘッドには、ノズルを保護するためのインクが入っています。保護部品（b）を取り外す際は、こぼして衣服や周辺を汚さないようにプリントヘッドが入っていた箱の上などで行なうことをお勧めします。こぼれてしまった場合は、乾いた布などでインクをふき取ってください。
- 取り外した保護部品や保護材は、再装着しないでください。これらのものは、地域の条例に従って処理してください。

8 ノズルを下側、電極部を奥側にして、プリントヘッドを [キャリッジ] に差し込みます。ノズルや電極部が [キャリッジ] に当たらないように注意しながら、奥までしっかりと押し込みます。

9 [プリントヘッド固定カバー] を前側に倒して、プリントヘッドをロックします。

10 [プリントヘッド固定レバー] を、カチッと音がするまで奥側に倒します。

11 [上カバー] を閉じます。

インクが充填されます。インク充填には約 11 分間かかります。

重要

- インクの充填中は、絶対にインクタンクを取り出さないでください。
- [操作パネル] のメニューで [ﾍｯﾄﾞ交換後ﾌﾟﾘﾝﾄ] が [ｵﾝ] に設定されている場合は、プリントヘッドを交換し、インクが充填された後に、[ﾍｯﾄﾞ位置調整]（[自動 (詳細)]）が実行されます。この場合、ディスプレイの指示に従って、プリントヘッドを調整します。
  [ﾍｯﾄﾞ交換後ﾌﾟﾘﾝﾄ] が [ｵﾌ] に設定されている場合は、[ﾍｯﾄﾞ位置調整] で [自動 (詳細)] を実行してください。（→2 縦線がゆがんだり色ずれがおきるときは）

メニューマップ

操作パネルの [タブ選択画面] で表示されるメニューの階層を、以下に示します。項目の右側の * は、初期値を示します。設定値の詳細については製品マニュアルを参照してください。
各タブのメニューを表示するには、メニューキーを押して [タブ選択画面] を表示し、[◀] キーまたは [▶] キーを押してタブを選択して、[OK] キーを押してください。

用紙メニュー

- 用紙のセット
  - ロール紙
  - 手差し用紙
- 用紙の取り外し
- 用紙種類の変更 *1
  - ロール紙
    - (用紙の種類が表示される) *1
  - 手差し用紙
    - (用紙の種類が表示される) *1
- 用紙サイズの変更
  - 手差し用紙サイズ
    - (用紙のサイズが表示される) *2
  - ロール紙の長さ *3
- ロール紙残量管理
  - オフ *
  - オン
- 用紙詳細設定
  - (用紙の種類が表示される) *1
    - ヘッド高さ → A
    - 斜行検知精度 → B
    - カットモード
      - 自動カット
      - イジェクトカット
      - ユーザーカット
    - カット スピード
      - 速い
      - 標準
      - 遅い
    - 先端プレカット
      - 自動
      - オフ
      - オン
    - カット屑軽減
      - オフ
      - オン
    - 吸着力 → C
    - スキャン間ウェイト → D
    - ロール紙乾燥時間 → E
    - ロール紙先端余白
      - 3mm
      - 20mm
    - カット紙先端余白
      - 3mm
      - 20mm
    - フチなし余白設定
      - 自動
      - 固定
    - 手差し給紙
      - 前面給紙
      - 上面給紙
    - 初期値に戻す
- 用紙詳細プリント
- 用紙種類の固定
  - オフ *
  - オン

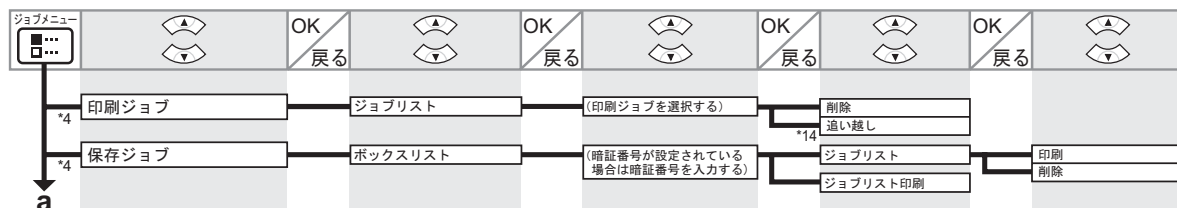
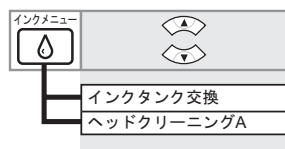
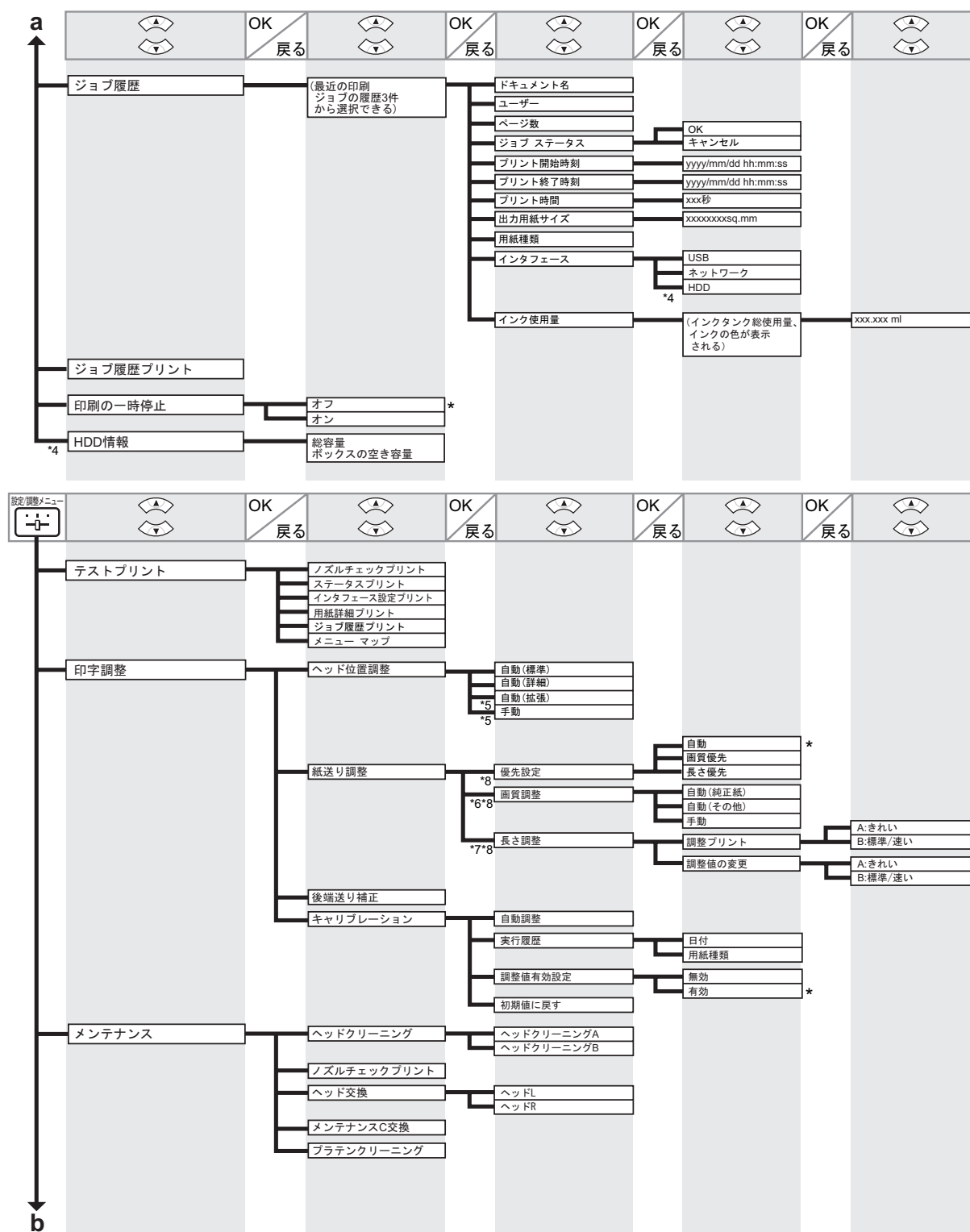
A: 自動 *、高い、やや高い、標準、やや低い、低い、最も低い

B: 高精度、標準 *、ゆるめ、オフ

C: 自動 *、強い、やや強い、標準、やや弱い、弱い

D: オフ、1秒、3秒、5秒、7秒、9秒

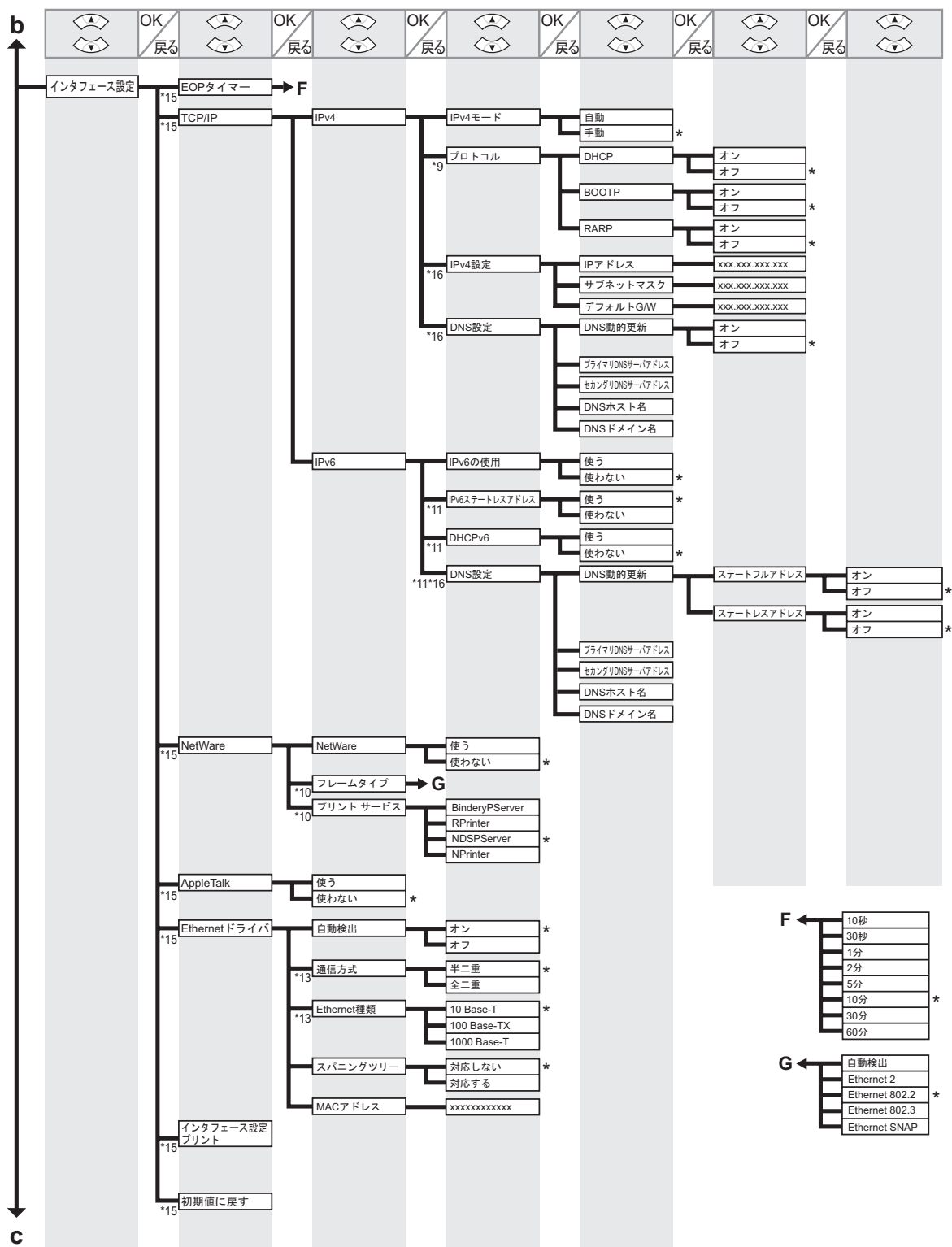
E: オフ、30秒、1分、3分、5分、10分、30分、60分

*1: プリンタに対応する用紙の種類については、用紙リファレンスガイドを参照してください。
User Software CD-ROMでプリンタドライバをインストールしたとき、またはMedia Configuration Toolで用紙の情報を更新したときに、プリンタドライバ、関連ソフトウェア、およびプリンタの[操作パネル]の用紙の種類が変更されます。
*2: プリンタに対応する用紙のサイズについては、電子マニュアルを参照してください。
（→電子マニュアル「用紙のサイズ」）
*3: [ロール紙残量管理]で[オン]が設定されている場合のみ設定可能です。

*4: iPF6350のみ対応しています。　*14: 保留中のジョブを選択した場合は[そのまま印刷]と表示されます。

*4: iPF6350のみ対応しています。

*5: 一度[ヘッド位置調整]の[自動(詳細)]を行った後に設定可能です。

*6: [紙送り調整]の[優先設定]で[自動]または[画質優先]が設定されている場合に設定可能です。

*7: [紙送り調整]の[優先設定]で[自動]または[長さ優先]が設定されている場合に設定可能です。

*8: 用紙がプリンタにセットされている場合に表示されます。

*9: [IPv4モード]で[手動]が設定されている場合は表示しません。
*10: [NetWare]で[使わない]が設定されている場合は表示しません。
*11: [IPv6の使用]で[使わない]が設定されている場合は表示しません。
*13: [自動検出]で[オン]が設定されている場合は表示しません。
*15: 管理者は表示/設定可能、管理者以外のユーザーは表示のみ可能です。
*16: 管理者のみ表示/設定可能です。

C

- システム設定
  - スリープ タイマー → H
  - ブザー
    - オフ
    - オン *
  - 画面コントラスト調整
    - -4,-3,-2,-1,0*,+1,+2,+3,+4
  - 日時設定 *15
    - 日付設定
      - yyyy/mm/dd *12
      - 時刻設定
        - hh:mm
  - 日付形式 *15
    - yyyy/mm/dd *
    - dd/mm/yyyy
    - mm/dd/yyyy
  - 表示言語 → I
  - タイムゾーン *15 → J
  - 長さの単位
    - メートル *
    - フィート/インチ
  - 用紙ミスマッチ検知
    - 一時停止する
    - 警告表示する
    - 検知しない *
    - 保留する *4
  - 用紙サイズ優先
    - ロール紙優先設定1
      - ISO A3 (297mm) *
      - 300mmロール
    - ロール紙優先設定2
      - 10inch (254mm) *
      - JIS B4 (257mm)
  - 外形サイズ優先
    - オフ *
    - オン
  - ロール退避時プレカット
    - 自動
    - オフ *
    - オン
  - ヘッド交換後プリント
    - オフ
    - オン *
  - ノズルチェック設定
    - 間隔
      - 標準 *
      - 1ページ
    - 警告
      - オフ *
      - オン
  - RemoteUIの使用 *15
    - 使う *
    - 使わない
  - 用紙設定初期化 *15
  - HDDデータ消去 *4*15
    - 高速
    - セキュア高速
    - セキュア
  - 出力方法 *4
    - 印刷 *
    - 印刷（自動消去）
    - ボックス保存
  - 受信完了後に印刷 *4
    - オフ *
    - オン
  - 共通ボックス設定 *4*15
    - 印刷
    - 印刷（自動消去） *
- 移動の準備
- 管理者メニュー *15
  - パスワードの変更 *16
  - パスワードの初期化 *16
- プリンタの情報 → K

H
- 5分 *
- 10分
- 15分
- 20分
- 30分
- 40分
- 50分
- 60分
- 240分

I
- English
- 日本語 *
- Français
- Italiano
- Deutsch
- Español
- Русский
- 中文（简体字）
- 한국어

J
- 0：ロンドン（GMT）
- +1：パリ, ローマ
- +2：アテネ, カイロ
- +3：モスクワ
- +4：エレバン, バクー
- +5：イスラマバード
- +6：ダッカ
- +7：バンコク
- +8：香港
- +9：東京, ソウル
- +10：キャンベラ
- +11：ニューカレドニア
- +12：ウェリントン
- -12：エニウェトク
- -11：ミッドウェー島
- -10：ハワイ（AHST）
- -9：アラスカ（AKST）
- -8：オレゴン（PST）
- -7：アリゾナ（MST）
- -6：テキサス（CST）
- -5：ニューヨーク（EST）
- -4：サンティアゴ
- -3：ブエノスアイレス
- -2：中央大西洋
- -1：カーボベルデ諸島

K
- 用紙の情報
- インクの情報
- システム情報
- エラー履歴
- その他のカウンタ

*4: iPF6350のみ対応しています。
*12: [日付形式]の設定に従います。
*15: 管理者は表示/設定可能、管理者以外のユーザーは表示のみ可能です。
*16: 管理者のみ表示/設定可能です。

索引

英数字

い

か

し

せ

た

ふ

め

よ

ろ